『椋鳩十全集』

掲載作品

「『えっ!』太郎は目玉を

掠鳩十顕彰会

久保田

毅

館でおとまり



そのふちに大きなクリの木 きに、小さな林があって、

リをひろっても…おっかけ

へんだいじにしていて、ク

ことか、とつ 時、どうした

ぜん、小便が

したくなりま

その2 「クリの実」

「天神さまの赤鳥居のわ

さんのものでした。…たい

「そのクリの木は、虎三

椋鳩十全集十一

がころがっているのです。

「自然の中で」

昭和四十五年三月

かけだすのでした。 もいないと急いでひろって あたりを見まわして、だれ

にはめずらしい丹波グリで がありました。それは、村

(1)

を通ると、大きなクリの実

学校の帰りなどにその下



2019年8月16日 発 行 日 発行責任者 喬木村公民館長 市 瀬 公民館編集部長 編集責任者 仲 田 久 龍共印刷株式会社

われました。 日のおとまり体験が、第一て、昨年に引き続き一泊二 生の四十二名が参加して行 小、第二小の三年生~六年 七月二十日(土):二十: (日) にこども学遊館に 今回も飯田OIDE長姫

めることを目的に、喬木村 の集団生活を通して、自分 社会教育委員会が企画して 族への感謝の心を育て、コ 心や他人を思いやる心、家 のことは自分でする自立 が、親元を離れ、異年齢で ミュニケーション能力を高 この事業は、 子ども達 て頂きました。 このおとまり体験は、子

ぎ

ととなり、主催者側も計画 時から慎重になりました える子どもを受け入れるこ 今回は初めて四十人を超 かれ、リーダーが中心となっ たが、子ども達は各班に分 ども達が自分で考え行動す

ることを大事に計画しまし

子がとても頼もしく、心配 進めてくれました。その様 め上げ、要領よく各行事を どもが、積極的に班をまと が、 していた日程も順調に進み 複数回参加している子

リーダーを決めるときに

た。ご協力頂いた皆さんに

T,

各班をまとめていまし

よる「読み聞かせ」を行っ のはあとぽっぽの皆さんに 星空観察」、公民館クラブ さんによる「ペットボトル 高校の西村武久先生と生徒 ケット工作教室」、田上 の村澤さんによる「夏の えました。 行動する姿はと 子どもと一緒に ても頼もしく見

を卒業した子ど も達が何年か先 られました。こ 高校生との交流 のおとまり体験 に、お兄さん、 がとても多く見 また、今回は

お姉さんになっ

も、高学年の子どもが複数 じゃんけんで決めるなど、 の子どもが手を挙げて、 **槓極的な姿が見** 心より感謝申し上げます。 (喬木村社会教育委員会)

れ、異年齢の

高校生とペットボトルロケット作り

りに行こうとさそいます。 いとこの太郎に、クリを取 のなり年でした。ある日、 ちょうどその年は、クリ こぞうどもお!』われがね そろしい顔をして、つっ立って たりました」虎三さんがお のようなどら声がひびきわ

すれてしまいました。 とることにむちゅうになって いてきました。木にのぼり、 いなあ」といいながらも、つ うは、うちにおらんで、 いると、おそろしさも、 むちゅうになってとります。 おじょうぶだ』」 めました。『虎三さん、きょ むき出して、私の顔を見つ 太郎は「なんだかおっかな

底からきょう

んまくに心の

ふを感じまし

「と、その

でしょうか。

虎三さんのけ

ンなきだします。

わたしも

用心しなければならないの をなぐりつけるのでした…」 てきてステッキでしりつぺた だから、一つひろうにも ぱいになったに…』 ゆすっ 持ってさきにおりな!』… てみせました。 『…かごを おりようとした時、『こら、 「… 『あにちゃん、かごいっ

くって、思

シャア

しは、前をま

した。…わた

験と、リーダー研修がこの れることを願っています。 事業によって行われま. た交流するという貴重な体 て学ぶことと、年齢を超え 地域の方々を講師に迎え

て、この事業に参加してく

ケット

いっしょにつく ○お姉さんと

○毎年作っていても、前と たです。 とても楽しかっ りました。お話 しながら作れて

くなった。良かった。 けずれなかったけど、意識 り、かたづけたりすること はちがうように工夫して作 してやると前より少しうま のせんたんの部分がうまく ができた。前は、ロケット いっしょに協力して作った ることができた。友達と

ちょうど良い買い物が出来 ○最後は八十六円あまって

んの頭の上に、滝のように ようにつっ立っている虎三さ とやりました。…仁王様の たと思う。子ども達(大人 人) で行ったことはおと

ア!」とさけんで、とびの おちていきました」 いたと思うと足をすべらせ 虎三さんは「ウワアア

枝にこしかけながら、ワンワ いるのです。太郎は、木の

でした。 なりました。…ところが を強い少年だと思うように くわしくはなしてまわるの 村の子供たちは、わたし 太郎は、村の子供たちに

市村さんといって阿島の北 ことです。太郎さんの姓は 娘さんご夫婦が阿島の町で の少年時代(彦穂少年)の 暮らしておいでです。 に住んでいました。今は、 ^{*}わたし、とは、椋先生

食べれてよかった。

りたいと改めて思った。(館長)

もじょうずにつくることが

盤は今年始めて作ってとて

かってよかった。 の星のことがく

。星座早見 くわしくわ みたいにキレイでした。夏

ターでうつしだされた星空

もきれいで外でやっている

でやったけれど

プロジェク 気が悪く中

○星の観察は天

かったです。

出来てよかったし、分かり

やすくできてよかったで

のことをたくさん知れてよ くり返りました。 てざんねんだったけど、星 て、すってんころりんひっ ○くもりで外にでられなく

郎!にげろ!』二人は無事 見のがしませんでした。『太 「わたしは、そのすきを げきりました…」

じっさいは…どうだったの ください。 みなさんがこわ かったのでよか が、おもしろく むりだと思っていました ○読み聞かせは れしかったです。 もしろい話をし しいです。はー

おいしく食べる ○自分で考えたメニューで んなで食べれてよかった。 て友だち(グループ)のみ 朝ご飯について た。またポテト ○いつもの朝ご飯とちがっ ことができ チップスを

、ットボトルロ まり会くらいしかな 〇二回やってて、 ときに役立つ) が将来大人になった たと思う。(自分達 いのでいい機会だっ

だけ高いのをえらび 逆に多いくらい つもたりないくらい す。なので、できる だったけど、今回は

○先生の話を聞きながら 作って自分なりのロケット をたよりにして、なかった 物は別の物にかえるなど工 きたし、なかよくな ○はんできょう力で ました。 話ながら行ってこれた。 くときも帰るときも楽しく 夫してみんなで買えた。行 に行くことができた。メモ れたので、よかったです。 ○班の人をまとめて買い物

読み聞かせ ○もっとこわい 話をしてほ

をみたいです。

す。おうちでも

つかって星

い話や、お とぽっぽの こわい話は てくれてう またきて

ったです。 てこわくな

読み聞かせの様子

の時 時

あ **の**

対象に地域の産業や文化へ を提言した。また、高校生を 域を学び地域の課題をとらえ 育』に取り組む高校がある。地 の理解を深める教育を実施 成に重点的に取り組むこと された。人口減少をはじめと することが重要としている。 長期にわたる対策が必要と する地域の課題解決には中 有識者会議の報告書が公開 し、第一に次代を担う人材育 飯伊地域では『地域人教 五月に地方創生に関する

地域で地域の方とかかわりな ンジボランティア」も、中学生が の一つを「食育」とし、米づく よい。小学生が取り組む総合 中学生が行う職場体験学習 だと私は大いに評価している。 に足を付けた確実な取り組み ないが、人口減少を解決する地 ながり、即効性はないかもしれ 着と誇りを醸成することにつ かかわりをしながら次代を担 だと言える。様々な方が様々な がら地域課題を考えるチャンス 社協で取り組む「サマーチャレ どもの学びを豊かに、そして、 て取り組んでいる。「食育」は子 りに、地域の方々の支援を受け りや五平餅などの伝統食づく を育むことにつながると思う。 まれ育った地域への誇りと愛着 地域への理解を深め、自分の生 学習も地域や地域の方とかか も『地域人教育』と言っても た。これらの学びは地域への愛 とを教育課程として位置づけ う人材を育てていける村であ 深くする可能性がある。また、 議会に出席した。第一小は重点 わって学ぶものが多く、これも て具体的なことに取り組むこ 先日、小学校の学校運営協

梅雨

明け

の竿に数珠なす滴かな

老若の球技楽しむ夏の朝

田

中

君子

暮れてゆく町の灯にじむ夏座敷

原

美恵

雨

上がり廃屋彩る凌霄花

紫陽花の露に秘めたる彩のあり

切

株に躓きて追ふ蛍の夜

市

橋

ヨリ

青田風あしたは少し良い予感

父の汗沁みて遺れりヘルメット

松葉

孝子

紅色をきりりと締めて文字摺草

秘境駅音無き風の夏あざみ

西元くにこ

片言の

日一日や初夏の風

夏川の子等の声澄む夕まぐれ

秦

恭子

喬木俳句会

山間の打ち上げ花火谺して

村山たか子

覆ふほど花びら散らす針

槐

吉川てる子

匹が闇の詩となる蛍川

オカリナの一音となる夏祭り



盆踊りの様子

りの生憎の天気でしたが 次第に天気も ステージでは まりました。 場には大人か 防団喇叭班の 大勢の方が集 ら子どもまで 良くなり、消 レにより開会 ファンファー ました。会

ル「ポポロ」 ショーなど、 の演奏や、 カリナサーク をしてきたオ 四月から練習 さまざまな 会場を盛り上 ました。 り、加々須川に迫力ある音 今年は打ち上げ花火も加わ と、賑やかな声が響き渡り 花火大会が始まりました。 げていました。またテント おいしい香りが満ちて では焼きそばや菓子などの て、お客を呼び込みました。 その後夜七時三十分から



加々須オカリナサ の演奏

時より、

七月十三日土曜日午後五 加々須区民会館で

行われました。当日は雨降

皆様は開催にあたってご苦労もあることとは思いますが、これからも地域が一致団結し いましたが、どの会場も地域の方、大変多くの子供たちで賑っていました。地区役員の

去る七月二十七日、今年

された祭りが行われました。残念ながら阿島区夏祭りは天候が悪く、中止となってしま **今年も村内各地で夏祭りが開催されています。各地区趣向を凝らし地域の特色が表現**

て祭りを盛り上げていただきたいと思います。

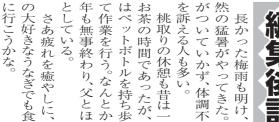
り、会場となった喬木第二 他に各常会毎の演目があ 祭りでは、クラブや団体の ムも合わせて行われるこの ました。地区教育フォーラ が無事に第二十六回となる も台風の心配がありました 小学校の体育館には、多く 「富田夏祭り」が開催され 遥太鼓など盛り沢山、大に 加していました。の人がそれぞれ楽しんで参 ぎわいの夏祭りとなりまし ニットによる懐メロ演奏、 クラブの発表や、区会ユ 鼓や大正琴クラブによる演 目に加え、小学校のダンス 今年は第二小学校銀嶺太

田 夏 祭 *教育フォーラム
各常会の出し物

				伊																			
順		チ			富	上	北	南	町	富	伊	寺	帰	勇	伊	帰	北	南	両	勝	負	分	勝
	I			久	١	平			天		久	_	牛		久	牛	久	志					
	L			間	田	龍	明		狗	田	間	の	原		間	原	b	b					
位	名			Α	В	王	神	D	海	L	K	前	S	龍	G	D	馬	鳩	平	数	数	数	点
1	伊	久	間 A			0	0		0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0	0	12
2	富	田	В				0		0	Δ	0	•	0	0	0	0	0	0	0	10	1	1	10.5
3	上	平	龍 王	•				0	0	0		0	0	0	•	0	0		0	9	2	0	9
4	北	明	神	•				0	0	0		0		0	•	0	0	\triangle	0	8	3	1	8.5
5	南		D				•			•	0	0	0		0	0	Δ	0	0	7	3	1	7.5
6	町	天	狗 海	•	•	•	•				0	0	•	0	0	•	0	0	0	7	6	0	7
7	富	田	L			•	•	0			0	•	0		0	0	•			5	4	1	5.5
7	伊	久	間 K	•	•			•	•	•		0	0	•	\triangle	0		0	0	5	6	1	5.5
9	寺	の	前	•	0	•	•	•	•	0	•			0			0		0	5	6	0	5
10	帰	牛	原 S	•	•	•		•	0	•				•	0	0		0		4	7	0	4
10	勇		育	•	•	•	•		•		0	•	0				0	0	•	4	7	0	4
10	伊		間 G	•	•	0	0		•				•				0	\triangle		3	6	2	4
13	帰	牛	原 D	•	•	•	•	•	0	•							0		0	3	8	0	3
14	北	久	ら 馬	•	•	•	•	Δ	•	0		•		•	•	•		•	0	2	10	1	2.5
15	南	志	ら鳩	•	•		Δ	•	•		•		•	•	Δ		0		•	1	8	2	2
15	両		平		•	•	•	•	•		•	•		0		•	•	0		2	10	0	2
※勝つ	ち点	1勝=1	引き分	(ナ=0	.5 7	で加算	0	勝ち、	●負け	、△引	き分け	t、□不	戦勝、	■不単	敗								



会場の様子



年も無事終わり、父とほって作業を行う。なんとか今はペットボトルを持ち歩いお茶の時間であったが、今 長かった梅雨も明け、突然の猛暑がやってきた。体然の猛暑がやってきた。体 がついていかず、体調不良 がついていかず、体調不良 がついていかず、体調不良 を訴える人も多い。 さあ疲れを癒やしに、父としている。

編集後

令和元年度第2回公民館平和学習会 飯田市出身 沖縄戦若手研究者 吉川由紀さん講演会

「沖縄戦と私-なぜ、何を伝えるか」

太平洋戦争末期の沖縄戦では20万人を超す命が奪われ ました。沖縄は米軍の本土上陸を防ぐための捨て石とされ、 今もなお米軍基地問題に揺れ続けています。

吉川さんのお話をお聞きして、自分のこととして沖縄のこと を考えてみませんか。お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

◇日時:令和元年8月28日(水)

開場 19時00分 開会 19時30分

◇会場:喬木村福祉センター2階多目的ホール

☆お問い合わせ先 喬木村公民館 0265-33-2002